

人とモノの

ものがたり



モノはしゃべらない。  
だからこそ純粹な気持ちで大切にできたり、  
素直に甘えられたり、  
また誰かに大切に使うってほしいと思える。  
ランドセル展という箱が、  
人とモノの奥ゆかしくて温かい  
"ものがたり"を思い出す  
きっかけとなります。

「ランドセル展」

会期  
延長

2/20 (水) まで

2024年2月7日[水]-9日[金] 10:00-17:00

フジイギャラリー 九州大学総合研究博物館 鑑賞料：無料、ご自由にご覧ください

ワークショップのお知らせ

7日 11:00~13:00 つくる  
15:00~17:00 はなす、かく  
8日 12:00~14:00 つくる  
9日 11:00~13:00 はなす、かく

「つくる」と「はなす、かく」の2種類のワークショップでは、  
皆さんに「人とモノのものがたり」を紡いでもらいます。  
事前予約なしで一回10分から30分ほどなので、お気軽にご参加下さい。  
※「つくる」は一回あたり7,8人までで制限させていただきます。

連絡先：endo.hana.182@s.kyushu-u.ac.jp (担当：遠藤)

# どんな展示？

“もの”が使われたり、贈られたりする中で生まれる温かい思い出を「人とモノのものがたり」とし、展示という形でアウトプットした。

今回の展示では、観覧者に「ものがたりを疑似体験」してほしいと考え多くの人にとって身近な存在であるランドセルを展示の主演とした。

## 展示までの道のり

2023.6  
インタビューによる情報収集

2023.12  
コンセプトとテーマ決定&制作

2024.2  
展示開催



インタビューで収集した情報を元に①6年間の相棒②コラム③家族会議の3つにテーマ分けし展示空間を作った



「あの頃のわくわくを思い出せた」

鑑賞者アンケートより

モノは語らない。  
だからこそ  
純粋な気持ちで  
大切にできたり  
素直に甘えられたり  
また誰かに大切に  
使ってほしいと思える。  
六年間という  
『期限付き』で  
小学生の  
『背中に背負われる』  
ために作られた  
ランドセルは  
その役目を超えて  
奥ゆかしく温かい  
『ものがたり』を  
閉じ込めています。  
この展示が  
あなたにとっての  
『ものがたり』を  
思い出すすきっかけと  
なりますように